

最近の本学の取組等について
2023.6 ~ 2023.9

活動報告

1. 2023 年度新任教員研修・シンポジウム

本学の理念・目標を理解することを目的とした新任研修及び新任教員の紹介を目的としたシンポジウムを開催し、2023 年 4 月 1 日に採用された 7 名の教員が経歴や研究テーマの発表を行いました。

日時：2023 年 6 月 29 日（木）14：30～16：20

場所：名古屋工業大学 4 号館 1 階ホール

対象者：新任教員、本学教職員、学生

内容：在外研究員報告 講演者：カーディフ大学（イギリス）派遣 古川 陽輝 助教

新任教員発表

田中 剛平（情報工学専攻知能情報分野）、井村 直恵（社会工学専攻経営システム分野）
山中 千尋（人文社会・言語分野）、小田部 秀介（電気・機械工学専攻機械工学分野）
湯川 光（電気・機械工学専攻機械工学分野）、小泉 透（情報工学専攻ネットワーク分野）
青山 真子（生命・応用化学専攻生命・物質化学分野）

参加者数：77 名



シンポジウムで発表を行う新任教員

2. 夏季オープンキャンパス

受験生（高校1～3年、既卒生等）及びその保護者を対象にしたオープンキャンパスを開催しました。

日時：2023年8月1日（火）

対象者：受験生（高校1～3年、既卒生）、保護者等

内容：

・受験生向け講演会

①「名工大での学び—多様な研究から選択するには—」アドミッションオフィス長 林 篤裕 教授

②「名工大のキャリア支援・キャリア教育」キャリアサポートオフィス長 犬塚 信博 副学長

・保護者向け講演会「名古屋工業大学の実践力～活きた教育、活きた研究～」江龍 修 理事及び前田 健一 副学長

・模擬授業及び研究室見学

・個別相談会

・座談会

・学内散策

参加者数：3,191名



講演「名工大のキャリア支援・キャリア教育」



女子学生向け座談会

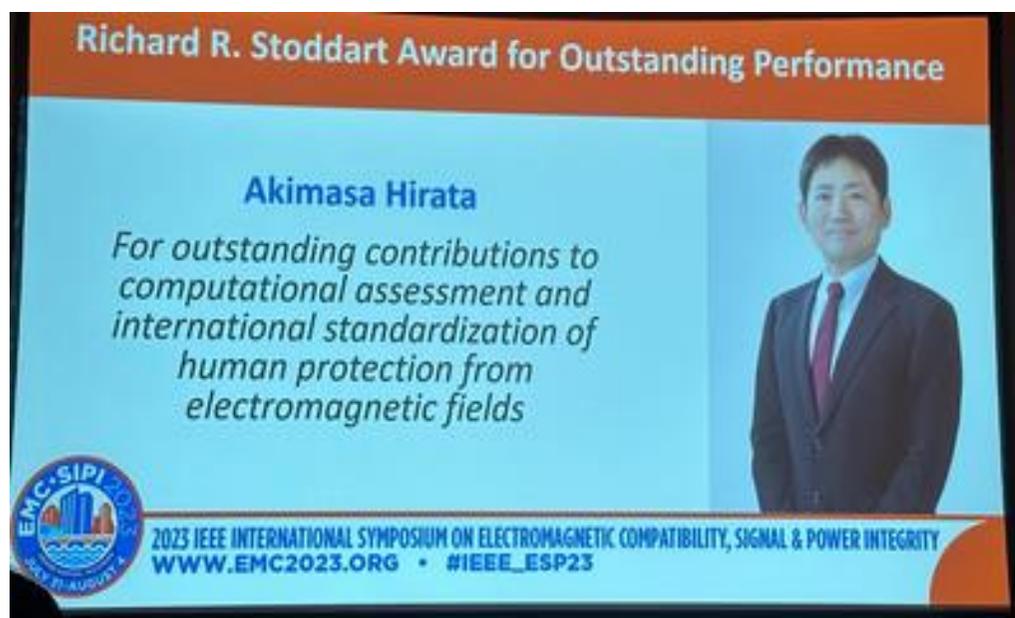
教員の受賞

1. 平田 晃正 教授が、IEEE（米国電気電子学会）Electromagnetic Compatibility Society（電磁両立性ソサイエティ）Richard R. Stoddart Award for Outstanding Performance を受賞

受賞者：平田 晃正 教授

概要：電気・機械工学類平田 晃正 教授が、2023年7月31日～8月4日にアメリカ合衆国ミシガンにて開催された、「2023 IEEE International Symposium on Electromagnetic Compatibility, Signal & Power Integrity」において、「Richard R. Stoddart Award for Outstanding Performance」を受賞しました。

本賞は、米国電気電子学会電磁両立性ソサイエティにおける最高賞に位置付けられており、電磁環境技術の進歩または社会技術的問題の解決に貢献した優れた業績を表彰するもので、これまで著名な研究者が受賞してきました。今回平田教授は「電磁界からの人体防護における数値ドシメトリ評価ならびに国際標準化」への貢献が評価され、2023年8月3日に同シンポジウムにおいて授賞式及び平田教授によるプレゼンテーションが行われました。



2. ダイバーシティ推進センターが日産財団「第6回リカジョ育成賞」奨励賞を受賞

概要：本学のダイバーシティ推進センターが、「工学の扉を開こう！」をテーマに、女子小・中・高生を対象に工学の魅力を発信するために行ってきた一連の取組みが評価され、日産財団「第6回リカジョ育成賞」奨励賞を受賞しました。

本賞は、日産財団が女子児童・生徒の理科への興味・関心を高める活動の中で、特に優れた成果を残した個人または団体を対象に授与しており、本年度は62件の応募がありました。本学のダイバーシティ推進センターは、Webサイト「工学の扉を開こう」を開設し、工学を学ぶ女子学生、活躍する女性研究者、研究内容を動画で紹介するとともに、オンラインおよび対面の工学体験イベント「モノづくりチャレンジ」を開催することで、各取組みを連動させて包括的に実施している点、工学や理系進路に関心が高くなかった層にもアピールできているという点が高く評価され、2023年8月4日に各賞の受賞が決定しました。



Web サイト「工学の扉を開こう」より

学生の受賞

1. 工学専攻（情報工学系プログラム）の学生チームが、第18回情報危機管理コンテストで経済産業大臣賞を受賞

受賞者：チーム P01TERGEIST（齋藤・掛井研究室）

工学専攻情報工学系プログラム 川西 晶大

桜井 涼太

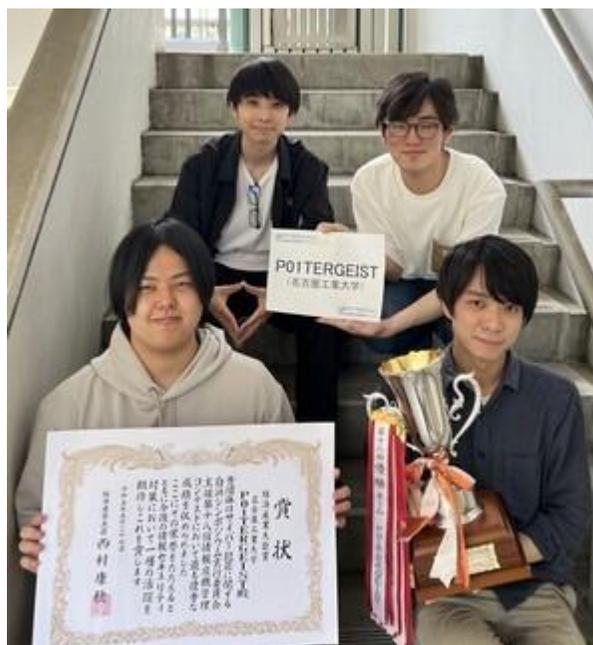
徳田 祥太

情報工学科

山根 一真

概要：情報危機管理コンテストは、ホスティングサービス等を運営する IT 企業のシステム管理者役になり、リアルタイムに発生するインシデントを解決していくコンテストです。本学チーム P01TERGEIST は、全国 24 チームにより 4 月から行われた予選を勝ち抜き、2023 年 5 月 26 日（金）に開催された決勝戦にて、迅速かつ的確な問題解決を行い、総合的な評価が最も優れたチームに贈られる、経済産業大臣賞を受賞しました。

本チームは昨年度の同コンテストにおいても同賞を受賞しており、二年連続の受賞を果たしました。



2. 本学学生チームが、Tongali ビジネスプランコンテスト 2023 において最優秀賞等を受賞

■受賞名：Tongali 賞（最優秀賞）、NICT 賞（起業家甲子園出場権）、愛知県賞（サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）派遣）、野村證券賞*、三菱 UFJ 銀行賞*

チーム名：SELF-MADE

情報工学科・ギル マロ（代表）、キム ドンヨプ、家田 煌矢

テーマ：「家で簡単に韓国の買い物ができる SAZO」

■受賞名：JETRO×CENTRAL JAPAN 海外チャレンジ賞、名古屋銀行賞*、愛知県信用保証協会賞*

チーム名：AdsorpEn

工学専攻創造工学プログラム・杉江 紗矢香

*サポーター賞

テーマ：「悪臭から土壌改良剤を作る！」

概要：Tongali ビジネスプランコンテストは、東海地域（愛知県・岐阜県・三重県・静岡県）のすべての大学の大学生・大学院生を対象とし、大学発ベンチャーの創出と起業家育成を目的としたコンテストです。全 47 チームによる予選を勝ち抜き、2023 年 6 月 17 日（土）に行われた本選において、本学公認の起業サークル（NaSH）所属の学生チームが最優秀賞等を受賞しました。

